



通算才 207号
1968-3-27
第191回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

* 社会奉仕委員

年末の社会奉仕寄附金に依り今般パートカーのスピーカを購入して寄附致しました。金額は5万5千円であります。

* 出席報告

1. 本日の出席 会員37名 出席29名 欠席8名
2. 前回の出席率 会員37名 出席29名 欠席8名
他クラブ出席6名 合計35名 94.59%
3. 他クラブ状況 函館96.24% 函館東98.67%
4. 2月出席率 函館96.22% 函館東98.1%
函館北 94.59%

* 卓話

本日は函館工専の卒業式に参列したあと、只今北クラブ例会に出席出来た事は喜びであります。今様に申せば函館に工科大学が出来たのは安政4年で、江戸に番所調べ所と申した学問しらべ所が出来たのが安政3年で現在の東大の前身であるから随分と函館も古くからの開港都市であるが悪臭の街である所が残念である。我々日本人はどうも「におい」と言うものに対し無感である。「いろはにほへと」と習つても、いろは美に通じ、美は「におい」に通ずると言ふ事には全く無知である。「菊の香や奈良の都のほとけたち」と「におい」が文学に表現されたのは江戸時代の中期中で、それ迄は飛鳥時代は皆無、奈良朝時代の伴旅人編集の梅のたより32種の歌の中でも「におい」にふれたものは全くない。斯様に無感になつた主要因は農業国とし人工肥料に依存して悪臭にマヒした事が鼻の機能自体をも低下せしめた為と考えられる。

鼻の悪さは神代からと申しながら、「耳は忘れても鼻は忘れない」と言う様に悪臭は人間に悪印象を残すものである。四季のたよりを運ぶ津軽の海も函館港に近づくにつれて「イカゴロ」の悪臭が鼻についてくる。函館人はマヒして居る様だが旅人には全く閉口であり、この悪臭対策を考慮して良き諸の街函館になつて貰いたい。



新入会員
角谷隆一君

* プログラム委員より

再三会員卓話の予定が変更になつている事を深く御詫び申します。

* 会長報告

1. 小幡ガバナーより協力費に対し御礼の書面が参つて居ります。
2. 七重浜慰霊碑附近の薬品除草効果の写真を廻覧致します。
3. 勝木分区代理より南国の香あるフルーツの寄贈があり厚く御礼申し上げます。

* 会員卓話

“続 セメント雑話” 谷口会員

去る42年5月31日セメントの起源から今日に到る迄の歴史と現在使用されて居るセメントに就いて御話を致しましたので本日は将来に就いて御話致したいと存じます。目標は一応西歴2000年(昭和75年)とします。

1. セメント需要量の将来

1-1. 国民総生産(G.N.P)の伸び
毎年8%伸びるものとする。(1971年迄の経済社会発展計画では8%が見込まれている)

1-2. 建設投資

アメリカ・英国・西ドイツ・フランス・イタリア・カナダ・日本の過去の例に依ると建設投資/GNP=7~18%の間にある。また建設投資1億円当りのセメント消費量は300-1200^t/億円である。

1-3. セメント超長期需要想定 GNP=8%

建設投資/GNP=10-20%
セメント/建設投資=300-600^t/億円
以上の範囲で考えてみると下記の如く推定される。

西 歴	昭和	国内需要	輸 出	計
1965	40	3,117万t	153万t	3,270万t
70	45	4,690	180	4,870
75	50	6,570	180	6,750
80	55	9,220	180	9,400
85	60	10,180	80	10,260
90	65	11,240		11,240
95	70	11,000		11,000
2000	75	11,000		11,000



第192回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム

「箱館戦争秘話」 元木省吾氏

註 1966年 アメリカ= 6,500万t台で頭打ち
ソ 連= 8,000万tを突破
西ドイツ= 3,500万t程度で伸びが少ない
日 本= 3,743を突破。67年は4,233万t
68年は4,500万tの見込

2. 1人当りセメント消費量

西 歴	昭和	人 口	1人当消費量
1965年	40	98,274千人	317 Kg/人
70	45	103,327	459
75	50	107,977	609
80	55	112,836	817
85	60	117,914	863
90	65	123,220	912
95	70	128,765	854
2000	75	134,559	817

3. 石灰石使用量

1965~2000年セメント生産量は30億トンであり、石灰石は39億トンが必要である。石灰石協会の調査に依るとその65%がセメント向きであるため、その比率を適用すると使用量は60億トン、採鉱量は40年で65億トン、推定38億トン、予想114億トンで総計217億トンであるから原料面の懸念はない。

4. 我が国に於けるセメント工業の将来

1975年以降6,500万トン台で頭打ちになると考えると65-2000年間のセメント量は21億従つて2000年後の石灰石の残は175億トンとなり原料面の心配はない。然し今後は建築関係が鉄鋼で押されるので安閑は出来ないと思考する。

42年	国 内	4019万t	100%
	生 コ ン	1,509	35.7
	建 築	566	13.3
	セメント製品	558	13.2
	土 木	427	10.1

* 出席率

本日出席会員	37名	欠 席	7名
前回出席率	94.59%		
他クラブ	函館	94.74%	
	函館東	85.53%	

警察庁の発表によると、3月末までの交通事故による死傷者の数は「史上最悪」を示し昨年同期よりも交通事故の減つたのは香川県のみで、あとは全国どの府道県も増加している。被害者の悲惨は勿論、加害者の方も補償に苦しまねばならないが、毎年これだけの死傷者を出しながら、改善の兆もないのはどういふことか。

その国の文化度は学校の数や出版物の量ではかるよりも、「交通事故の死傷者数」ではかるべきだろう。

* 司 会 俣野会長 * 斉 唱 国歌、奉仕の理想

* ビジター 函館交通安全会々長 斉藤忠氏
函館中央警察署長 田中勇氏
函館中央署交通課長 大野敦氏
〆 〆 指導係 田原政吉氏

村上富政君(網走・ミンク飼育) 梅津福次郎君外4名(函館)
柳沢登君外4名(函館東)

* 会長挨拶

先般年末寄付金で交通指導車のスピーカーを寄贈すると報告致しましたが、本日斉藤交通安全会々長、田中函館中央署長が例会に出席されましたので、目録を以つて寄贈致します。交通戦争防止の幾分でも役立つものであるなら今後共にこの企画を続けて行きたいものと存じます。

* 斉藤交通安全会々長挨拶

激増する交通事故は本年になつて全道で死者100名、負傷者5000人に及んで居り、雪とけと共に更に多くなる事が予想されます。特に道南地方は酔払い運転、無謀運転がたえず交通道德の低い所であります。当局も予算その他で萬全の策もとれず、安全会も皆様の御協力を得て微力ながら当局に協力して居ります。今般日産自動車より指導車の寄贈を受けましたところ、北ロータリークラブより、スピーカー寄付の申出あり誠に喜びに耐えません。これ以外に函館トヨタ・函館トヨペット株式会社よりの指導車寄贈の話もあり